



交流レセプション




交流レセプションアトラクション「秋津川炭琴サークル」



大会記念式典アトラクション「奥熊野太鼓」

令和5年3月25日(土)・26日(日)に「花咲かそう！街咲かそう！人咲かそう！」を大会テーマとして、第61回全日本花いっぱい田辺大会を開催いたしました。

（前夜祭）を開催し、交流レセプションの最後には、会場近くの堤防から約10分間のウェルカム花火を打ち上げ、参加された皆様を歓迎いたしました。第2日目の26日(日)は午前中に紀南文化会館において大会記念式典を開催し、市内外から約700名の



第61回全日本
花いっぱい
田辺大会

和歌山県田辺市
第61回全日本花いっぱい
田辺大会を開催しました。

方々にご参加いただきました。その後、会場を新庄総合公園レガシーエリアに移してクマノザクラの記念植樹・チェンソーアート「花とみどりの妖精」のモニュメント披露を行いました。

また、大会関連イベントとして25日(土)・26日(日)の2日間、新庄総合公園におき



新庄総合公園モザイクアート



新庄総合公園モニュメント



交流レセプション ウェルカム花火

まして地域の産品が集まる物産市やキッチンカーの出店を行い、公園内の野外音楽堂「ミューズパーク・たなべ」では26日(日)にステージイベントとしまして、よさこいや太鼓、ダンス、チェンソーアートショー、田辺高校応援團の演舞などの披露を行いました。



大会記念式典

両日ともあいにく小雨が降る中の開催となりましたが、大勢の方に満開の花をご堪能いただけたことと思います。
「第61回全日本花いっぱい田辺大会」の成功を踏まえ、大会を単なる

イベントとして一過性で終わらせるのではなく、テーマである「花咲かそう！街咲かそう！人咲かそう！」の理念が花いっぱい運動という市民活動として、未来に向かって更に拡大していくことが期待されています。

第61回全日本花いっぱい田辺大会ホームページに、大会の記録動画（YouTube）や当日のラジオ放送・テレビニュース等のリンクを掲載しております。ぜひご覧ください。
ホームページURL



ホームページURL



田辺大会実行委員会会長 真砂田辺市長
全日本花いっぱい連盟会長 臥雲松本市長



コンテスト受賞者



コンテスト受賞者



大会記念式典アトラクション「トモジャズダンススタジオ」



コンテスト応募作品



記念植樹(クマノザクラ)



新庄総合公園 ステージイベント 田辺高校応援團



新庄総合公園物産市



新庄総合公園



新庄総合公園

新潟県長岡市

長岡市の花いっぱい活動の紹介

新潟県長岡市といえば、毎年8月2日・3日に開催され、全国から100万人以上のお客様をお迎えする「長岡まつり大花火大会」が有名です。

長岡市の花いっぱい運動の拠点である長岡市緑花センター「花テラス」は、駅から徒歩約10分の市民防災公園内にあり目の前には花火をかたどった市民花壇が広がっています。

この市民花壇の花苗はすべて「花テラス・サポーター」という市民ボランティアがタネから育てたもの。植栽やその後の手入れなどには近隣の中学生も参加し、季節を通じて市民の目を楽しませています。

また、花火会場となる信濃川の河川敷で、昼間にも観客の皆様には花火のようなひまわりを楽しんでもらおうと、近隣の中学生や住民が協力して「花はな広場」にひまわりを咲かせる取組みを行っています。

このように長岡市の花いっぱい運動は市民の手によるところが大きいですが、きっかけとなったのが平成4年の第35回全国花いっぱい長岡大会でした。その後、市民団体代表などで構成する協議会が発足し今まで

に3本の事業を柱に花いっぱい運動を展開しています。

一つ目は、花にまつわる様々なイベントを通じ花づくりの裾野を広げる「花いっぱいフェア」。体験コーナーなどで子供も大人も楽しく花に触れ合い、広く花づくりのきっかけの場となっています。二つ目は花を育てることを通じてまちづくり・人づくりに取り組む団体を表彰する「花いっぱいコンクール」。きれいに花壇を作ることだけでなくその取組みがいかに地域・人とのつながりを生み出しているかをポイントとしています。三つ目は「長岡駅前市民プラントーづくり」。市民が世話する55基の大型プランターの花々が長岡への来訪者をお迎えしています。

どの事業も立ち上げから20年以上経過していますが、近年ではSNSを活用し情報を発信するなど時代に応じて工夫をしながら活動の輪を広げています。

長岡の花いっぱい運動は市民が主体です。花づくりを通じたまちづくり・人づくりがさらに発展していくようこれからも取組んでいきます。



「花テラス・サポーター」の活動



長岡市緑花センター「花テラス」



「花いっぱいフェア」の様子



「花はな広場」ひまわりのタネまき

ハンギングバスケットで広げる花の輪 (一社) 日本ハンギングバスケット協会長野支部

支部長 岩本真美

松本「街を花いっぱいにする会」に加入しております一般社団法人日本ハンギングバスケット協会長野支部と申します。ハンギングバスケット協会(以下JHBS)は全国で約40の支部



会場を飾ったハンギングバスケット



緑と花のフェスティバル「タマカラ」ワークショップ

があり、長野県支部は現在約60名のハンギングバスケットマスターで活動しています。ハンギングバスケットやコンテナなどを利用した装飾園芸の普及に努め地域社会と連携して、花育の推進、花と緑にあふれた街づくりの実現に寄与することを目的としています。現在は講習会でハンギングバスケットはもちろん、苔玉づくり、多肉植物の寄せ植えなど、興味を持って参加して貰える内容を考え、幅広い層の方に参加いただいています。また長野県内では年3回のコンテストも開



花いっぱいフラワーコンテスト風景



田辺大会での表彰式

催され、ハンギングバスケットの展示を行いたくさんの来場者に見て頂いています。松本市では21回目となる花いっぱいフラワーコンテストにハンギングバスケット部門もあり素晴らしい作品が並びます。会場ではコンテスト開催に合わせて市民の方に楽しんで頂ける様、ワークショップも行います。今年は今人気の多肉植物を使った毛糸玉というコロナ可愛い多肉玉を行います。「これならやってみたい!可愛い!」と植物に興味を持って頂けるきっかけになれば嬉しいです。JHBSではSDGsにも取り組んでいます。先日参加したイベントでは環境を意識したタマゴの殻からできたプランター「タマカラ」を使い子供達に寄せ植え体験を行って頂きました。笑顔で好きな花を選ぶ姿にスタッフが癒されました。植物を通してたくさんの方との出会い、活動の場があることに感謝しています。今年3月は、全日本花いっぱい田辺大会で上記の活動が認められ功労表彰を頂き誠に光栄に思います。これを励みに市と連携してこれからも花いっぱい発祥の地として花の輪を広げていきたいと思

います。

事務局だより

令和5年度の全国大会は開催されません。

第62回以降の開催都市を再募集してまいります。

- ・市制施行記念日を迎える都市(人口8万人以上を対象)
- ・会員の皆様にお願いです。

近隣で市制施行記念でなく、大きなイベント等を計画している都市がありましたら、是非事務局まで教えてください。ただ、よろしくお願いたします。

第54号

発行日 令和5年7月
発行 全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-11
Mワインプラ2F
TEL 0266313213 042
FAX 0266313216 511



緑と花のフェスティバル松本会場で会員の皆と